

熊工OBウィンドアンサンブル吹奏楽の演奏



地域住民手作りの祭り

高木ふれあい祭り

第4回高木ふれあい祭りが10月23日、高木小学校体育館で開かれ、地域住民など約300人が演芸を堪能しました。高木公民館と区長会の共催で毎年開催されている地域住民手作りの祭り。祭りを盛り上げようと多彩な演芸が発表され、会場を盛り上げました。高木小卒業生の後藤和也さん(高木)が所属する熊工OBウィンドアンサンブル吹奏楽の生演奏もあり、美しい音色が観客を魅了しました。園田宏紀高木分館長は「4回目の開催を迎え、参加者も増えて地域の輪も広がってきている」と話していました。

米作りを肌で体験しました

御船小で稲刈り交流

良質な吉無田水源米で知られる田代地区上田代で10月21日、御船小学校(佐藤公一郎校長、313人)3年生58人が稲刈りを体験しました。地域交流や食育学習を目的として、今年で3回目。地域で管理する田20㍍で、地域住民約30人が参加して、児童たちに稲刈りを直接手ほどきしました。同小の後藤有理さん(辺田見)は、「稲刈りは2回目。腕や腰が痛かった。お米作りは大変。これからは一粒も残さず食べようと思う」と気持ちを引き締めました。このほか、乾燥やもみすり施設の見学、七滝中央小学校との交流も行われました。



稲を一株ずつ丁寧に刈り取る児童たち

水泳指導に情熱注いで15年

御船学童水泳クラブに優良表彰

上益城郡体育協会(住永幸三郎会長)は7月17日、御船学童水泳クラブ(村上右近会長)にスポーツ優良団体表彰を授与しました。この表彰は、郡内のスポーツ振興に尽力した団体を称えるものです。同クラブは、年長児から小学生を対象とした初心者向けの水泳教室。村上右近会長が体育教師時代の経験を生かして、平成8年8月に設立しました。村上会長は15年間、スポーツセンター温水プールで水泳の直接指導を行い、生徒の体力づくりを支えてきました。現在は、町内外の生徒180人を抱え、週3日で6回の指導にあっています。村上会長は、「子どもが泳げるようになると喜びがあり、刺激や若さを与えてくれる。子どものため一生懸命に水泳指導をして、後継者の育成も図っていきたい」と意気込みを話していました。



スポーツ優良団体表彰を代表で受けとった村上会長

参拝者に「願始」を舞い身を清める竹内さん



五穀豊穣に感謝を込めた舞

中原神社で例大祭

五穀豊穣に感謝する例大祭が10月15日、中原神社(上野)で開かれ、地域住民が参拝しました。同神社は築700年以上の歴史を持ち、上野地区の15集落200戸以上の氏子でまもられています。神事では、肥後神楽「神選の舞」を竹内寿幸さん(上野)が奉納。参拝者に「願始」を舞って身を清めました。肥後神楽の野田弘会長(上野)は、「昭和10年から神楽を舞い、今年も無事に奉納できてうれしい」と喜びを話していました。このほか、グラウンドゴルフやゲートボールの大会もあり、伝統ある祭りを盛り上げていました。

御船の四季をうたい20年

御船春菊句会が合同句集を寄贈

御船春菊句会(緒方新代表)が9月29日、教育委員会を訪れ、自費出版した合同句集を町立図書館や小中学校へ寄贈しました。同会は、俳句愛好家14人で活動し、今年で結成20年目。その節目を記念して、合同句集を500部出版しました。俳句は、季題を入れた5・7・5の17文字からなる詩で、町内の名跡や史跡に足を運んで思いをつづっています。緒方新代表は、「俳句の季題は身近な日常生活にあり、季節の移り変わりに喜びを感じる。若い人にも興味を持ってもらえたらうれしい」と期待を寄せていました。



増永信介教育長に合同句集を寄贈する緒方代表(右)

町が誇れる芸術文化を発信

町美術・工芸協会展覧会

芸術の秋に合わせて町内の美術家や陶芸家などが一堂に会する展覧会が10月6日～14日まで、カルチャーセンターアートホールで開かれました。作品は、油彩、木彫、水墨、コラージュなどを25人が出展して、約40点が展示されました。展覧会は元々、町文化祭の展示絵画部門で出品されていましたが、会員数の増加もあって昨年から独立しての開催となっています。世話人を務める竹田津純代表は、「町には、浜田知明先生や井手宣通先生など偉大な芸術文化がある。芸術文化を掘り起こして、日常生活の中にアートを盛りこんでいきたい」と思いを話していました。同会では、絵、彫刻や陶芸などの芸術に関心のある会員を広く募集しています。詳しい内容は竹田津代表まで直接電話でお尋ねください(☎282-2524)。



今年で2回目となる展覧会には9日間で延べ500人が来場